

2026年度工学教育研究講演会オーガナイズドセッション (OS) 講演募集案内

OSテーマの公募を行い、寄せられた提案を審議の結果、以下の8テーマで開催いたします。4月1日から、一般講演のテーマ(01)~(06)と同様に申込を受け付けます。なお、オーガナイズドセッションはすべて会場登壇となります。

(07) OS：工学教育における合理的配慮について

趣 旨：2030年度からの学習指導要領にインクルーシブ教育が正式に位置づけられる状況を踏まえ、本セッションでは、工学教育における合理的配慮とは何かについて、改めて整理することを目的とする。

オーガナイザー：前田 篤志 (Institute of Phenomenal-Science Education, Professor/筑波大学), 米盛 弘信 (工学院大学・准教授)

(08) OS：高等教育とウェルビーイング(その3)

趣 旨：多様なウェルビーイングの実現及び向上に向けた様々な取組みが進められており、教育においてもその重要性が認知されている。ウェルビーイングの実現及び向上を促進する高等教育、特に、工学教育の在り方を検討する。

オーガナイザー：小林 幸人 (国立高等専門学校機構・学務総括参事教授), 藤木 篤 (関西大学・教授), 福士 珠美 (東京通信大学・教授)

(09) OS：産学連携・地域貢献に取り組む学生の活動事例

趣 旨：学生達が日々学んでいる知識や技能を産学連携や地域貢献の形で生かすことができれば、学修内容の深い理解や達成感を得ることができる。そこで、本OSでは正課外・正課活動における学生の産学連携・地域貢献活動を発表してもらい、活性化に向けた情報交換を行う。(学生による登壇に限る)

オーガナイザー：米盛 弘信 (工学院大学・准教授), 金井 徳兼 (神奈川工科大学・教授)

(10) OS：産業界とつながり、共に描くコミュニケーション教育のデザイン

趣 旨：急速に変化する産業構造や働き方を背景に、コミュニケーション能力を大学教育と産業界で連続的に育成する視点が求められている。本ワークショップでは、企業側調査に基づく情報提供を起点に、大学側でどこまで育成すべきか、それを受けて企業側がどこまで担うのかについて、双方の役割や期待に関する相互理解を深めながら議論する。

オーガナイザー：二上 武生 (工学院大学・教授), 山崎 敦子 (デジタルハリウッド大学大学院・特命教授), 和田 朋子 (工学院大学・教授)

(11) OS：STEAM時代における工学倫理教育

趣 旨：デジタルファブ리케이션・生成AIの普及、SSHや情報必修化、STEAM教育の進展を背景に、中等教育段階から科学技術倫理・工学倫理を体系的に扱う必要が高まっている。本セッションでは、制度・現状・実施条件を多角的に整理し、中等教育⇔高等教育の架橋を検討する。

オーガナイザー：竹原 信也 (奈良工業高等専門学校・准教授), 藤木 篤 (関西大学・教授), 新谷 幸弘 (千葉工業大学・教授)

(12) OS：Society 5.0時代を担う理工系人材育成に関する高専教育の実践と展開～高専における取組～

趣 旨：産業構造や価値観が大きく変化する現代において、次世代を担う理工系人材の育成を目指して、全国の高専が、実践力や課題解決力の強化、先進分野の専門知識の習得、地域活性化への貢献等の様々な取組みを実践している。これらの高専教育の強みを伸ばす事例の紹介を通じて、今後の工学教育の方向性及び大学教育への展開の可能性等について議論する。

オーガナイザー：鈴木 雅人 (東京工業高等専門学校・教授), 外山 茂浩 (長岡工業高等専門学校・教授)

(13) OS：地域社会における工学系のダイバーシティの課題

趣 旨：達成目標としてのダイバーシティ・インクルージョンは、企業や教育現場で色々と制度は作っても、外部からその結果が見えない。特に地方では周りの社会にバイアスが掛かっている。そこで、どうしたらうまく行くのかまたはうまく行かないのか、情報を交換したい。

オーガナイザー：佐藤 孝 (新潟工業短期大学・学長), 磯貝 恵美子 (株式会社デンソー・人事部担当次長), 内海 房子 (元 国立女性教育会館)

(14) OS：ものづくりの技能科学

趣 旨：本セッションでは、人間の曖昧さ、不確定さ等の感覚性の概念を含めたものづくり技能について意見を交わします。「技能の見える化やデジタル化」、「DX人材育成と課題」、「企業におけるものづくり人材育成」等幅広いテーマで募集いたします。

オーガナイザー：藤田 紀勝 (職業能力開発総合大学校・准教授), 齋藤 繁 (北海道科学大学), 森口 肇 (職業能力開発総合大学校・助教)